

ほほえみ新聞

THE Yasuragi! <http://m-yasuragi.com>
ホームページもご覧下さい

2019年9月発行(第62号)

編集:やすらぎの園 広報部

E-Mail: nagano@m-yasuragi.com

所在地: 〒388-8019

長野市篠ノ井杵淵 213-4

TEL026-293-2600 Fax026-293-2959

むつみ家ももの木保育園 開設準備 着々



建設中のももの木保育園

令和二年四月一日開設予定のむつみ家ももの木保育園(地域型保育事業・小規模保育事業※A型認可申請予定)の開設準備が着々と進められています。今年度のスタートとともに始まった園舎建設も計画通り順調に進んでおり、その全容が徐々に明らかになってきました(写真左)。一方では、認可申請に向けた各種書類及び運営体制等の準備・調整、必要備品の選定や購入準備なども進められています。多くの関係者の皆様に支えていただきながら、保育理念である未来を拓く子どもたちの「生きる力の基礎力」を育み、地域における子育て支援の拠点として地域福祉の向上に貢献するための保育園づくりを進めていきます。

【こんな保育園を目指しています】

- 定員は18名。子どもたちと保護者、職員がみんな顔なじみ、大きな家族のようなあたたかい保育園を目指します。
- 木のぬくもり溢れる園舎。室内にはクライミングウォールや木製ブランコ、2階には水遊びができる屋根デッキがあります。体を使って元気いっぱい遊びます。また、手作りおもちゃもたくさん用意しています(写真右)。
- 本体の高齢者施設のお年寄りとの交流や農作業体験(じゃがいもやサツマイモの苗植え、収穫など)、地域の皆様との交流を積極的に行います。
- 年に2回の遠足。少人数だからこそ行ける場所、できることもいっぱいあります。
- 地域の子育て世帯のサポートや、地域の皆様にも足を運んでいただけるような企画を立案し、実施します。



牛乳パックで作った手作りおもちゃ

※小規模認可保育園:平成27年度より施行された「子ども・子育て支援制度」にて新たに認可事業化された地域型保育事業の一つで、0~3歳未満児を対象とした定員6人以上19人以下の少人数で保育を行う。



8月6日、第9回やすらぎの園夏祭り「むつみ祭」が開催されました。

当日の日中の最高気温は35.6度。夕方からは雷鳴と雨雲が近づき、「ゲリラ豪雨」も心配されましたが、雨も本格的な降りにはならず、少し涼しくなった会場には、ご入居者、ご家族、地域住民の多くの皆様にお越しいただき、昨年以上の盛り上がりを見せ、大盛況のうちに全てのプログラムを終えることができました。



福祉の職場説明会に参加 やすらぎの園 ブース賑わう



プレゼンテーションの様子

まずは、事業紹介のプレゼンテーション。プレゼン会場には100名ほどの求職者が詰めかけ、立ち見の方もみられました。当施設のプレゼンの順番は、参加9法人中でトップ。ご入居者の暮らしに寄り添うユニツケケア実践を中心に来場者にアピールを行いました(上写真)。その後の説明会では、プレゼンテーションの効果もあり、当施設ブースには多くの方々が足を運んでくれ、一時はしばらく順番を待っていただく場面もありました。説明・相談には入社2~3年目の若手介護士が応じ(右写真)、終始和やか雰囲気の中、熱心に説明を聞く求職者の姿がみられました。

8月2日、「令和元年度第1回福祉の職場説明会」がメルパルク長野にて開催され、やすらぎの園も参加しました。当日は昨年の50事業所を上回る70事業所が参加。会場の1階ホールには隔々まで各事業所のブースが設けられました。今回の職場説明参加にあたり、当施設では昨年に引き続き対策チームを作ってメンバーそれぞれが役割を負い、入念に準備を進めてきました。その甲斐あって、当日は27名の皆さんがやすらぎの園ブースに足を運んでくれました。



ブースで話を聞く求職者

やすらぎフォトギャラリー

当施設のさまざまな取り組みを皆様に写真でお届けします。



開所記念交流会(6月)



東館・流しそうめん(7月)



夕涼みコンサート(8月)

※紙面上の入居者様の写真は、ご本人及びご家族の了承を得て掲載しています。

さて、今回は何を書かせて頂くか?そんなことを考えながら台所へ行くくと『さんまのかばやき』の缶詰が目に入りました。「よし、今回はこの缶詰から何が語れるか書いてみよう」と思い、「さんま」と言えば、大衆魚の代名詞ですが、今年は大変な不漁のようです。産地の漁港でも水揚げが例年の一割程度とか。東京の「目黒のさんま祭り」も初の冷凍ものの開催となったそうです。この秋、わが家の食卓にあがるのはやはり「缶詰」でしょうか。

「かばやき」と言えば、やはり「うなぎ」。土用丑の日に近い七月の休日、諏訪湖畔の岡谷市へ家族でうなぎを食べへに出掛けました(じいちゃんやんの奢りです)。昼間から一杯頂き、脂ののったふわふわのうなぎは、甘い汁と相まって絶品。「これで今年の夏も乗り切れる」と盛り上がりつつあったのですが、普段食べられない「おご馳走」を頂いたせいでしょうか、お腹の調子が。何ともさみしい結末となってしまいました。

缶詰の裏を見ると製造元は千葉県銚子市。銚子と言えば、同出身の篠塚利夫本名・利典氏。プロ野球巨人の内野手。そのバントコントロールは絶妙で、左打席から流れるようなフォロムで三遊間に流し打つ姿が印象的でした。私が小学生の頃(かれこれ三十五年程前)、男の子はたいいていプロ野球団の野球帽をかぶってました。プロ野球シーズン中はほぼ毎日夜七時から放送でナイター中継(巨人戦)が放映されていて、大人も子どもも勝利の行方に一喜一憂していました。思い出すとも何となく、『さんまのかばやき』の缶詰から私が語ることができたのはこの程度です。皆さんは『さんまのかばやき』からどんなお話ができそうですか。ヨシタカ

2018(H30)年度 社会福祉法人睦会 決算報告書

須坂やすらぎの園を含んだ法人全体の決算書です。

事業活動計算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位:千円)

勘定科目	当年度決算	前年度決算	増減
サービス活動収益計①	2,436,782	2,405,900	30,882
サービス活動費用計②	2,425,607	2,374,172	51,435
サービス活動増減差額③=①-②	11,175	31,728	△20,553
サービス活動外収益計④	12,922	11,812	1,110
サービス活動外費用計⑤	28,252	21,965	6,287
サービス活動外増減差額⑥=④-⑤	△15,330	△10,152	△5,177
経常増減差額⑦=③+⑥	△4,154	21,576	△25,730
特別収益計⑧	61,715	17,251	44,464
特別費用計⑨	46,817	6,895	39,922
特別増減差額⑩=⑧-⑨	14,898	10,356	4,542
当期活動増減差額⑪=⑦+⑩	10,744	31,932	△21,188
前期繰越活動増減差額⑫	2,399,600	2,427,068	△27,468
当期末繰越活動増減差額⑬=⑪+⑫	2,410,344	2,459,000	△48,656
基本金取崩額⑭	0	0	0
その他の積立金取崩額⑮	78,238	73,873	4,365
その他の積立金積立額⑯	66,203	133,273	△67,070
次期繰越活動増減差額⑰=⑬+⑭+⑮-⑯	2,422,379	2,399,600	22,779

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位:千円)

資産の部		負債の部			
	当年度末	前年度末			
流動資産	1,084,168	1,011,642	流動負債	200,292	197,015
固定資産	4,932,126	5,092,262	固定負債	1,192,618	1,273,512
基本財産	3,602,766	3,743,118	負債の部合計	1,392,910	1,470,527
その他の固定資産	1,329,360	1,349,144	純資産の部		
			基本金	405,079	405,079
			国庫補助金等特別積立金	888,577	909,315
			その他の積立金	907,348	919,383
			次期繰越活動増減差額	2,422,380	2,399,600
			純資産の部合計	4,623,384	4,633,377
資産の部合計	6,016,294	6,103,904	負債及び純資産の部合計	6,016,294	6,103,904

コーヒーマラソン

してみませんか。

やすらぎの園では、平日の午後二時三十分より一時間ほど、おふくろ館の喫茶スペースにて「喫茶えんじゅ」が開店します(写真左)。ここで活躍いただいているのがコーヒーマラソンボランティアの皆さん。各館より足を運んで来るご入居者の方々にコーヒーマラソンやお茶、お菓子等を出したり、時には歌を歌うなどして楽しい一時を過ごします。ご入居者の中にはこの時間を大変楽しみにしている方も大勢いらっしゃいます。

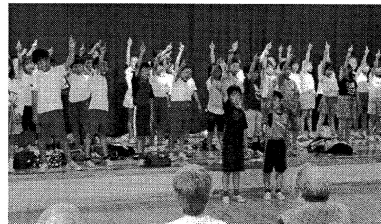
そんな「喫茶えんじゅ」ですが、このところ、これまで活動されていたボランティアさんがお辞めになるなどして、水曜日と木曜日のみの開店となっております。そこで現在、当施設では、コーヒーマラソンボランティアとして活動していただける方を募集しております。興味・関心のある方は、是非お問い合わせください。見学も可能です。お待ちしております。お問い合わせ先

【問い合わせ先】
二九三・二六〇〇
やすらぎの園
青木、伊藤



3年生 81名とご入居者・ご利用者が交流

篠ノ井東小学校交流会



7月4日、施設開所以来交流を続けている篠ノ井東小学校の3学年3クラスの皆さん81名と先生3名が来所され、伝統の交流会が行われました。今回の交流会にあたり、東小の皆さんから「やすらぎの園についてもっと知っておきたい」とのご要望を受け、6月24日当施設職員が東小を訪問し、やすらぎの園がどんな場所で、そこで生活しているご入居者やサービスを利用されているご利用者がどんな様子なのかなどを授業の中でお話させていただきました。児童の皆さんは、熱心に話を聞き、どうしたら楽しい交流ができるのかを一生懸命に考えてくれました。そして、交流会当日。交流はとてもうまくいきました。

交流会は、特養で2クラス、デイ・ショートセンターで1クラスが交流を行いました。特養の交流会会場となった「むつみホール」では、始めにステージ上で合唱やリコーダーの発表が行われ、子どもたちの練習の成果が披露されました(写真上)。また、学校で自ら育てたというキュウリをおみやげとしていただきました(写真右下)。そして、ご入居者との交流。ご入居者の輪の中に子どもたちが入り、手遊びや肩もみ、お話を楽しみました(写真左下)。初めは緊張した面持ちだった子どもたちも、徐々に打ち解け、会場は子どもたちの熱気と元気な声と笑顔が溢れ、大変楽しい交流会となりました。

当施設では、社会福祉法人睦会「苦情解決の仕組みに関する要綱」に基づき、皆さまから頂いた苦情を真摯に受け止め、円滑で円満な解決に向かうよう努めております。

そこで、苦情を密着化しないため、第三者委員を設置して苦情解決に社会性や客観性を確保し、ご入居者及びご利用者様の立場や特性に配慮した対応ができるような仕組みを設けています。現在、第三者委員は、元地域区長会長の丸山徳員(まやまのりかず氏、当施設にてボランティアとして活動されていた曾根川真佐子(そねがわまさこ)氏に委嘱しています。ご入居者及びご利用者様とご家族ほか、多くの皆さまに周知いただき、些細なことでもお気づきの点がありましたら、遠慮なくお申し出ください。

第三者委員

宮入慶之助記念館

開館二十周年記念講演

「むつみホール」にて十一月十八日開催

篠ノ井西寺尾地区にある宮入慶之助記念館が今年で開館二十周年を迎え、この度、当施設地域交流ホール「むつみホール」にて、記念講演が開催されることとなりました。

宮入慶之助氏(一八六五～一九四〇)は地元西寺尾地区出身の寄生虫、衛生学者で九州帝国大学教授。日本住血吸虫という寄生虫が原因で発症する日本住血吸虫症という疾患を研究し、その感染ルートとして巻貝(宮入博士の功績を記念してミヤイリガイと命名)が関与していることを発見し、その撲滅に大きく貢献されました。

今回の記念講演会開催にあたり、同記念館理事長の山口様(西寺尾公民館分館長)よりご相談を受け、会場として提供させていただきますこととなりました。地元出身の偉人についての講演会。興味・関心のある方は、是非、この機会にお出掛けください。

※当日の日程及び記念講演の内容等詳細につきましては、特定非営利活動法人宮入慶之助記念館(電話二九三・四〇二八)までお問い合わせください。

